

「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会 第9回スタッフ会議報告

- 【日 時】 2010年2月28日(日) 午後1時～4時
【場 所】 大阪自然環境保全協会事務所
【出席者】 布谷(滋賀)、佐藤・伊東・高島・木村・横山・神田・宮田・南(大阪)、
久保田(奈良)、今村(京都)、松井・川又(愛媛) 以上5府県13名参加
【司 会】 高島(大阪自然環境保全協会) 【記 録】 木村(同)
【案 件】

(1) 前回スタッフ会議の報告(第8回スタッフ会議報告2009.12.6参照)

- ① 日時 2009年12月6日(日) 午後1時～4時45分
- ② 場所 大阪自然環境保全協会事務所
- ③ 出席者 布谷(滋賀)、鈴木(兵庫)、佐藤・伊東・高島・木村・横山・神田・宮田・南・河合・廣寄(大阪)、久保田(奈良)、村田・今村(京都)、末広(香川)、小川(徳島)、狩山(岡山)、井上(島根)、有川(鳥取)、松井(愛媛) 11府県21名参加
- ④ 主な案件
 - ・予備調査報告書・カラーチラシについて
 - ・2010年度本調査に向けて……調査用紙の改訂と調査体制
 - ・第3回実行委員会について
 - ・実行委員会予算について
 - ・ホームページ・メーリングリストについて
 - ・今後のスケジュール

(2) 前回のスタッフ会議以後の動き(報告事項)

① 第3回実行委員会について

【名 称】「タンポポ調査・西日本2010」第3回実行委員会

【日 時】 2010年1月30日(土) 午後1時30分～午後5時

【場 所】 大阪市中央公会堂 大会議室

【参加者】 福井1・三重1・滋賀2・京都6・大阪19・兵庫12・奈良3・和歌山2・鳥取1・島根2・岡山3・徳島1・香川4・愛媛1・高知1・その他1 合計 15府県60名参加

【内 容】

- ・司会(高島)
- ・あいさつ 副代表:武田義明氏
- ・講演「西日本のタンポポの分布と分類」兵庫県立人と自然の博物館:鈴木武氏
- ・報告1「中国地方の予備調査結果から」倉敷市立自然史博物館 狩山俊悟氏
- ・報告2「四国地方の予備調査結果から」徳島県立博物館 小川誠氏
- ・報告3「2009年予備調査結果報告と本調査の取組み説明」事務局:木村 進
- ・第3回実行委員会議事・各府県の取組み報告・今後のスケジュール 事務局
- * ほぼ予定通りの参加者があり、内容的には充実していた。ただ、報告を欲張ったので、後半の各府県からの報告や情報交換の時間が十分取れなかった。

② 予備調査結果報告書

- ・2010年2月23日に200部印刷し、第3回実行委員会当日配布。残部30部
- ・雑種解析のページの一部差し替え(伊東氏より)……事務局分も修正
- ・その後、修正を済ませた内容をHPへアップしたので、今後は必要ならHPからダウンロードしていただくこととし、増刷はしない。
- * 山口県のデータ(頭花なしなので、今回は例外的にマップにのみ反映)の扱いの説明が十分ではなかった。

③ 調査用紙について

- ・2010年1月30日(土)の実行委員会での意見を待って、小川氏に作成して頂いたデータを2010年2月3日に印刷屋へ送信。2回の校正を経て、2010年2月22日に印刷完成。
- ・印刷費用・発送費用はすべて伊東氏に出していただいた関係で、大阪市大から各府県事務局へ発送。現時点で特に問題点は寄せられていません。
- ・調査用紙は各府県一律に2000枚ずつ印刷。不足分は各府県で増刷していただくか、HPよりダウンロードしていただく。印刷で止むを得ない場合はB4判でも可。
- ・小川氏にワード版・封筒形式も作っていただいた。→HPへアップ。
- ・子ども向けのものは作らないのか(朝日小学生新聞記者より)。→作れていない。

④ カラーチラシについて

- ・調査用紙と同時に発送。最終的には4万枚印刷。各府県2000枚ずつ送付。事務局にも残部はありません。増刷の要望もありますが、予算的には困難(念のために費用を聞いておきます)。
- ・現時点ではまだホームページにはアップされていない。アップするようにしたい。

⑤ 福岡・山口の状況報告と、佐賀県の参加→19府県に拡大

- ・メーリングリストでしか報告できていませんが、予備調査では調査用紙が送られてこなかった福岡・山口へ、事務局の高島・木村と鈴木氏の3名で訪問。
- ・2009年12月26日(土)に、福岡県北九州市立自然史歴史博物館で、館の真鍋氏と九州大学総合研究博物館の三島氏にお会いし、本調査の依頼とそれに向けての説明会の開催について打合せ。前向きに取り組んでいただけることになった。
- ・2009年12月27日(日)に、山口県徳山市で真崎氏とお会いして、2009年春のデータをいただく。ただし、調査方法については調査用紙に記入して頭花で確認するという統一した方法ではなく、メンバーが調査された記録をメッシュ番号毎にまとめたもので、西日本の全体の調査結果とはいっしょには扱えないものであった。しかし、せっかく集めていただいた貴重さデータで信頼性も高いものなので、その場で、3人の責任で予備調査報告書の分布マップには加えさせていただくことを決定し、帰ってから入力し、佐藤氏に依頼してすべてのマップを作り直した。
- ・その後、佐賀県の上赤氏(西九州大学子ども学部)から鈴木氏に本調査に加わりたいという連絡があり、メールなどで主なメンバーで相談をして、(福岡県に続くカンサイタンポポの分布域でもあり、)参加を認めることとなり、調査用紙やカラーチラシもお送りすることとなった。これで、参加府県は合計2府17県となる。

(3) 2010年度本調査に向けて

① 本調査の調査体制について(前回のスタッフ会議の確認)

- ・全体的な体制は現在のままでいく。…全体の実行委員会と府県実行委員会
- ・調査データが少なかった府県や、各府県でデータの少なかった地域については、各府県で補充調査の計画を立てて、空白地域ができるだけ少なくなるようにする。
- ・予備調査の結果から考えて、大部分の府県では一定程度の調査地点が確保できるだろう。予備調査でデータが少なかった府県には、近隣の府県からも調査に協力する体制をとるなどしてデータの確保に努めてほしい。
- ・各府県で「調査説明会」などを行う際には、MLやホームページを通して、他の府県にも呼びかけ、近隣の府県からの参加も認めてほしい。

② 検討すべき課題<MLなどから>

1) 調査実施に向けた重要事項の確認(狩山氏からMLに流していただいた内容)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 花はぜひとも必要ですが、タネは必ずしも必要ではありません(タネだけですと無効になります)。2 タネは花と同じ株から採ってください。3 調査場所はできるだけ詳しく書いてください。位置の特定できない調査票は無効になります。4 緯度経度は日本測地系と世界測地系があります。緯度経度を記入される方は、 |
|---|

ご自分の値がどちらの測地系に対応しているか、ご確認ください。
<http://www.gonhana.sakura.ne.jp/tanpopo/questionnaire/>
 5 緯度経度があればメッシュ番号は不要です。
 6 記入漏れがないか、再度ご確認ください。

- 2) 検討事項>サンプル処理の段階で、瘦果だけで確認できても無効とするか？
 *検討の結果、アカミタンポポのように瘦果だけで確認できる場合もあるが、頭花がないと総ほう外片の状態もわからず、花粉観察もできないので、無効とすべきであるという結論になった。各府県の処理はお任せしますが、全体のデータは頭花がない場合はすべて無効扱いにします。
- 3) 他府県のサンプルの扱い<検討事項>
 ・予備調査でも、実施要項には原則として採集場所の住所を含む府県事務局(県境などは例外)へ送ることになっているが、送られてきたサンプルを処理していただいたものもある。本調査では、採取地点を含む府県へ転送することにしたい。少数であれば次回のスタッフ会議(7月3日)に持ってきていただくか、それまでに大阪の事務局へ送っていただき、当日、当該の府県の方が来られてたらお渡しすることにした。欠席の場合はお送りしたい。
- 4) 整理番号の打ち方の確認・・・各府県番号は変更なし(佐賀県は41)。3桁目を予備調査では「0」から始めたので、本調査は「1」から始めることを原則としたい。
 *問題点：予備調査で同じ番号のデータがあった。内容が同一の場合と明らかに違う場合。
- 5) サンプル処理の段階で、住所・地図データと緯度経度(世界測地系であるか?)の対応の確認をできるだけ行っていただきたい。→HPで確認方法の紹介を行う。
- 6) 小川氏から、入力時に地図を見ながら緯度経度を入力できる方法が便利であると提案いただいている。入力フォーマットについては、佐藤氏とも相談したが、予備調査時に用いたものを利用し、エクセルのバージョン変更に伴う変更のみとした。各府県では入力前に、調査用紙に記載された地点のデータに誤りがないか、小川氏から提案していただいている方式を活用してほしい。
- 7) 西日本産タンポポの検索表(鈴木氏作成)・・・スタッフ用として作成していただいたもの。当面は、ホームページなどには載せない。

(4) 実行委員会予算について(前回報告分)

① 現在の残金

- ・収入：前回調査の残金(29万円)+大阪市大伊東・名波氏よりの寄付(4.5万円)+今回の報告書送付前金(約5万円)+武田科学振興財団の助成金(30万円)。

② 前回以後の主な支出と今後の予算見積もり

- ・雑種の解析については、伊東先生が受けられる科研費で対応可能。
 - ・予備調査報告書(内部印刷なので、紙代+インク代で約1万円)
 - ・カラーチラシ・本調査の調査用紙の印刷費用・発送費用(約60万円)は伊東氏から支出していただいた。
 - ・今後は、最終の調査報告書の発行費用を何らかの助成金などで確保したい。
- *各府県で必要な費用については、全体の事務局から出せる予算はありませんので、実行委員会独自でぜひ助成金などの申請をするなどしてください。(愛媛県・松井氏よりの情報提供あり)

③ 助成団体の選択

- *前回調査時の助成金：日野自動車(45万)・タカラハーモニストファンド(50万)・NACS-J(80万)
- ・河川環境管理財団(175万)

助成申請団体	締切り	金額	申請	結果	備考
1 西日本博物館ネット	済み	10万円	鈴木	○	6万円を事務局へ
3 武田科学振興	済み	30万円	木村	○	助成期間は2年間
5 三井物産	済み	500万	木村	×	
6 花の万博協会	済み	100万	鈴木	?	書類選考はOK
今後の助成申請候補	締切り	金額	申請	結果	備考
7 ニッセイ財団	4/14	平均200万			総額4000万,研究
8					

(5) そのほかの検討事項

- ① 「タンポポ調査・西日本2010」実行委員会のホームページについて
 - ・予備調査報告書・調査用紙・カラーチラシの掲載。
 - ・小川さん作成の予備調査結果のマップを見ることができるシステムを「各府県の動き」のページからリンクできるようにした。

<今後の課題>

 - ・調査実施要項(全体向け)・サンプル処理マニュアル・入力シート(府県事務局向)
 - ・位置情報の確認システムをどのように取り上げるか?
- ② メーリングリストについて……実行委員会用のMLは活用されているが、一般用のMLは書き込みが少ない。もっと簡単なタンポポの話題でもいいので、活発に書き込みをお願いしたい。調査結果の概要も順次流していきたい。参加希望者は京都の村田氏へ連絡すること。
- ③ 大阪での生物多様性エキスポ(3月20~21日)への出展……保全協会のブースにA2判横4枚程度のパネルを展示→調査への呼びかけ・予備調査結果・調査用紙・カラーチラシを置いて宣伝。
- ④ 調査実施要項の検討(別紙案配布)……予備調査の実施要項をベースに変更部分を確認。事務局で完成させて、近日中にホームページの内容を更新します。遅くなってすみません。
- ⑤ サンプル処理マニュアル・入力フォーマット(別紙案配布)……下記の部分を変更して作成し、近日中に各府県事務局へお送りする。

(変更1) 伊東氏より、雑種解析の葉緑体DNAは発芽した実生ではなく、瘦果から抽出可能になったので、冷蔵保存は不要。また、一部のサンプルを送る府県は、サンプルに偏りがないようにしてお送り下さい。特に、総ほう外片の反り返るの状態が様々なタイプのものが適度に混ざるようにして、セイヨウタンポポは200以上、アカミタンポポは100以上、大阪市立大学伊東先生までお送り下さい。

(変更2) 花粉観察については、標本数が多すぎて困難な場合は、総ほう外片の状態が予備調査時にもしなくてもよいとした「4」「5」に加え、「3」のサンプルもしなくてもよいことにする。

(6) 今後のスケジュール

2010年	2月28日(日)	第9回スタッフ会議
	2月~4月	現地説明会・講習会(各地)
	3月~5月	本調査の実施
	4月~6月	各府県事務局での花粉観察やデータ処理作業
	6~12月	本調査結果の入力・解析(西日本全体・各府県別)
2011年	3月まで	最終報告書の作成

<当面の予定>

- ① 第10回スタッフ会議
 - ・日時 2010年7月3日(土) 午後1時から4時半
 - ・場所 岡山県 倉敷市立自然史博物館
 - ・内容
 - ・サンプル検討会(送付されたサンプルでわからないものをお持ちより下さい)
 - ・データ入力やデータ処理方法や日程の検討
 - ・最終的な報告書の作成や調査結果の報告について
- ② 調査説明会・現地説明会の開催
 - ・府県別の説明会はできるだけ他府県からの参加も可能としてほしい。決定次第、メーリングリストで流して下さい。ホームページにアップします。
 - *開催予定の府県(詳細はホームページなどをご覧下さい)
 - <終了したもの>
 - 滋賀県: 2月7日(日) 於 滋賀県立琵琶湖博物館
 - 兵庫県: 2月23日(日) 於 兵庫県立人と自然の博物館

福岡県：2月27日(土) 於 北九州市立自然・歴史博物館、九州大学
奈良県：3月6日(土) 13:30~15:30 於 奈良県文化会館
愛媛県：3月7日(日) 10:30~15:00 於 愛媛県立大洲高校
鳥取県・島根県：3月14日(日) 10:00~14:00 於 米子市児童文化センター
高知県：3月22日(月・休) 10:00~15:00 於 高知県立牧野植物園
京都府：3月28日(日)
大阪府：3月28日(日) 於 生き生き地球館(鶴見緑地内)
岡山県：3月28日・4月4日・10日
広島県：？
滋賀県：4月11日(日)
京都府：4月24日(土) 於 綾部市天文館

- ③ 生物多様性エキスポin大阪：3月20日(土)~21日(日) 午前10時から午後5時
於 グランキューブ大阪・・・京阪中之島線「中之島」駅下車すぐ。JR・阪神「福島」駅下車徒歩10分
*大阪自然環境保全協会のブースで「タンポポ調査・西日本2010」に関する展示。

*各府県の実行委員名簿(2010年1月15日現在・・・追加訂正があればご連絡下さい)

- <福井県> 横山恵子・田代みつ子・上野山雅子・笹木進(NPO法人ウエットランド中池見)、
河端良斉(敦賀気比高校)
- <三重県> 川村龍也・木原寿代・安藤宣朗・藤川和彦・白鳥敏夫・川添勇・山腰由紀子(自然
観察指導員三重連絡会)
- <滋賀県> 布谷知夫・芦谷美奈子(琵琶湖博物館)、前田雅子(琵琶湖博物館フィールドレポ
ーター)
- <京都府> 今村彰生(京都学園大学)、村田 章(京都生物教育研究会)・
- <大阪府> 佐藤治雄・木村進・高島耕一郎・宮田修・横山恵子(大阪自然環境保全協会)、伊東
明・名波哲(大阪市立大学理学部)、神田哲久・廣寄由利恵(自然観察指導員大阪連絡会)
- <兵庫県> 鈴木武(県立人と自然の博物館)、武田義明(神戸大学)、阪口正樹(西宮市立西宮東
高校)、工義尚(県立神戸商業高校)、奈島弘明(県立兵庫高校)、岩本哲人(神戸市立六甲アイランド高校)
- <奈良県> 久保田有・河合正人・前田一郎(自然観察指導員奈良連絡会)、鳥居春己(奈良教育大学)、今西
塩一(御杖村在住)、藤本直民(奈良県生物教育会)、尾上聖子(奈良植物研究会)、丸山健一郎(橿原
市昆虫館友の会)
- <和歌山県> 内藤麻子(和歌山県立自然博物館)、岡恭行・高須英樹(和歌山大学教育学部)
- <鳥取県> 有川智己・米澤朋子(鳥取県立博物館)、永松大(鳥取大学地域学部)、清末幸久
(自然観察指導員鳥取連絡会)
- <島根県> 井上雅仁・松村美雪(島根県立三瓶自然館)、中西正実(島根県高等学校理科教育
協議会生物部会研究部)、柳浦正夫(島根植物研究会)
- <岡山県> 狩山俊悟(倉敷市立自然史博物館)、地職恵(岡山県自然保護センター)、片岡博
行(津黒いきものふれあいの里)、榎本敬(岡山大学資源生物科学研究所)、坂本明弘
(県立玉島高校)
- <広島県> 平山琢朗・濱田展也・松井健一・大川博志・日朝直樹(広島県高等学校教育研究会理科部会生物部)
・白川勝信(高原の自然館)
- <山口県> 真崎博・真崎久(山口県植物研究会)
- <徳島県> 米澤義彦(鳴門教育大学)、森本康滋(日本自然保護協会徳島県支部)、木下覺(徳
島県植物研究会)、茨木靖・小川誠(徳島県立博物館)
- <香川県> 末広喜代一・縄田将史・北川優子(香川大学教育学部)、新居正敏・久米修(香川
植物の会)、福家英樹(県立高松高校)
- <愛媛県> 松井宏光(松山東雲短期大学)、橋越清一(愛媛県立大洲高校)、小林真吾・川又
明德(愛媛県立総合科学博物館)
- <高知県> 藤川和美(県立牧野植物園)、坂本彰(高知県自然観察指導員連絡会)、和食敦子(高
知大学理学部)
- <福岡県> 三島美佐子(九州大総合研究博物館)・真鍋徹(北九州市立自然史・歴史博物館)
- <佐賀県> 上赤博文(西九州大学子ども学部)